

原発事故から7年！フクシマを忘れない！

さようなら原発！十勝集会

● **日時** 2018年3月6日(火) 18:30~20:30

● **場所** 帯広とかちプラザ 2階 視聴覚室

JR帯広駅南（西4条南13丁目1）

講演

「SAYONARA核のゴミ最終処分場」

講師 **藤田 孝一**さん

(道北核廃棄物処分場反対連絡協議会代表)

2011年3月11日に発生した東日本大震災・東京電力福島第一原発事故からまもなく7年がたとうとしています。未だに5万人以上の県民の方々が避難生活を余儀なくされ、住民の帰還の問題、生活の再建や復興、風評被害、子どもを中心とする健康被害、除染廃棄物の処理問題、原発の再稼働等、多くの課題が山積したままです。

一方、政府は昨年7月28日、高レベル放射性廃棄物の最終処分場の選定に向けた「科学的特性マップ」を公表しました。これによると、北海道内は、沿岸部の広範囲に「最適地（輸送面でも好ましい地域）」が分布しており86市町村が該当しています。幌延町は、活断層や炭田、油田の存在などによる「不適地」と海岸から20^キ圏内の「最適地」が混在しています。政府は、「最適地」を重点的に住民向けの説明会を行い、理解活動を行うとしています。

私たちは、道の「核抜き条例」や「三者協定」を遵守させるとともに、「科学的特性マップ」にもとづく「文献調査」の申し入れなどの動きに警戒を強め、道内すべての自治体において高レベル核廃棄物最終処分場の受け入れを拒否するたたかいをすすめることが重要です。

つきましては、上記の内容で「十勝集会」を開催しますので、各単産、各地区フォーラム、市民の皆さんの積極的な参加をお願いいたします。

■主催団体： **さようなら原発！1000万人アクション十勝実行委員会**

事務局：平和運動フォーラム 問合せ0155-22-4334